



技術史教育

Education for History of Technology

ISSN 0917-9089

第119号

2019.7.31

第119号 目次

- 日本技術史教育学会2019年度総会・研究発表講演会開催報告……………山館 順(1)
 日本技術史教育学会2019年度総会報告……………鈴木 夏夫(2)・(3)
 お知らせ・理事会議事録・編集後記……………(4)

【総会・研究発表講演会開催報告】

2019年度総会・研究発表講演会開催報告

2019 年度総会・研究発表講演会実行委員会 山館 順(サレジオ高専)

2019年度総会・研究発表講演会は6月8日(土)の午前、午後にはわたり東京都町田市小山ヶ丘所在のサレジオ工業高等専門学校(以下本校、敬称略)二階231会議室にて開催された。

実行委員長挨拶の後、校長小島知博神父による講演「サレジオ高専の技術教育について」があり、電気工学科、デザイン工学科の設置、高度成長時代への対応を考えての情報工学科設立、さらに2005年度現町田キャンパス移転と変転を重ねた模様が紹介され、4学科約800人の学生と100人の教職員を抱える規模となった事で新時代を迎えるとした。

続く大島真樹先生の特別講演「ランチェスター理論の応用による三増合戦の犠牲者数」は戦術上の理論である同理論を応用して戦国期に神奈川県愛川町で行われた北条と武田の合戦について、敗者とされた北条方の犠牲者数が武田方の史料「甲陽軍鑑」が主張する数のほぼ半数に留まるのでは?との仮説を提示した。またシュレシヨンの数に近い犠牲者数と北条一族の将殆どを討取ったと記述する武田勢力下の諏訪大社文書二通を合考することで、「甲陽軍鑑」の誇張を裏付ける手掛を得るとした。

(1)技術史・技術文化史のセッションでは武長玄次郎「嘉南大圳のトップ・枝徳二」、つづいて山館順「内田百間と明治製糖私設鉄道」、岡崎昭仁「戦前・戦中の戦闘機開発に見る開発力の比較 第2報-開発者の視点から-」、渡部紘一「古代メソアメリカ文明遺跡の現地調査研究-第5報マヤ文明古典期の都市-ティカルとコパン-」の4講演、続く(2)技術史・技術文化史では塩津宣子・下間頼一「海の王都-壱岐の至宝-」、下間頼一・汪蘇・陳靖遠・塩津宣子「周口店 北京原人遺跡の現地調査研究-猿人洞を中心として-」、佐々木堯「寝殿造りの源流Ⅱ-釣殿を中心にして-」、南正晴「山口県常盤池の歴史-地勢、気候の観点からの考察-」の4講演があった。

昼食を挟み午後の(3)技術論・技術教育では丸山晴男・中條祐一「単位と歴史」を導入とした工学教育

に関する一考察-高等学校の理工系科目〔工業科目、理科、(化学)〕における授業実践-、奥野信一「戦後日本の森林理解教育の変遷「私たちの森林」の分析から」、牛山泉・飯野光政「日本における大規模風力発電導入の歴史(第3報)」、吉田喜一「荒川区南千住に存在した産業遺構・工場群」の4講演がなされた。

(4)科学論・技術論では、西川利男「APLとJ-英語によらないコンピュータ言語-科学技術者への自身のプログラミングに向けて」、小沢康美・高久有一・酒井毅・矢藤孝「球体車輪空陸両用ドローンの開発」、高久有一・松崎宙「ワンチップマイコンによるインドア模型飛行機の制御」、久間英樹・福岡久雄「佐渡金銀山内屏風沢間歩群と吉田松陰「東北遊日記」との関係」4本の講演がなされた。

全18件の多彩な主題のもと力のこもった講演であり、また今回初の試みとして開催校である本校学生の聴講を認めた為、若い人々の熱気を感じながらの講演となった。

特別講演も若手研究者による文理融合テーマを目指したものであり、今後本学会がどのように発展していくかを占う上でも些少ながら役割を果たすことが出来たものと信じたい。

到らぬ実行委員長にも拘らず委員の方々、関係各位にむけあらためて感謝申し上げます。



日本技術史教育学会 2019 年度総会報告

鈴木 夏夫(本学会総務担当理事)

2019年度総会は2019年6月8日(土)町田市のカレッジ高専2階231号室において開催された。参加人数は27人、山館順実行委員長による開会宣言、牛山泉会長のご挨拶後、議長団選出に移り、議長吉田喜一、書記穂積洋一両氏を選出、以下の順に議事進行した。
審議事項1 2018年度事業報告が総務・企画・編集担当各理事よりなされた。

1)総会・全国大会・関西支部総会

総会は2018年6月23日(土)、千代田区の上智大学四谷キャンパスにて開催(長嶋利夫実行委員長)。全国大会は同年12月22日(土)~23日(日)厚木市の神奈川工科大学で開催(岡崎昭仁実行委員長)、12月23日(日)は見学会。関西支部総会・講演会は2019年3月10日(日)大阪市の大阪産業大学梅田サテライトキャンパスにて開催、3月9日(土)は見学会、関西支部主催。

2)他学協会との関連事業

日本工学教育協会など、他学協会との関連事業を開催した。

3)学術刊行物の発行

学会誌「技術史教育学会誌」第20巻第1号(2018年11月)を発行。ニュースレター「技術史教育」第114~117号(2018年4月,7月,10月,2019年1月)を発行。

4)その他

学会規約により日本技術史教育学会「功績賞・業績賞」、「優秀講演論文賞」候補者を審査し、総会で表彰を行った。日本学術会議、科学技術振興機構等からの事務的要請に対し、事業協力を行った。他学会からの要請により高度な学術支援を行った。学会HPを定期更新した。学会誌の投稿規程を改定した。

審議事項2 2018年度収支決算報告がなされた。

「収入の部」の表において注記はあるが△記号の使い方が簿記上間違いであるとの指摘があり訂正することになった。「支出の部」の表において「論文出版事業費」中「印刷製本費」の「摘要」欄の「講演論文集(2回)」の「(2回)」が正しい旨の説明があった。

審議事項3 会計監査報告が田中明美監事よりなされ、2018年度事業報告、収支決算報告とも訂正条件付きで承認された。

審議事項4 2019年度事業計画案が承認された。内容は以下の通り

1)総会・全国大会・関西支部 総会は2019年6月8日(土)カレッジ高専にて開催(山館順実行委員長)、全国大会は2019年12月に福井高専での開催を検討中。関西支部総会・講演会・見学会 2020年3月14日(土)に総会・講演会を大阪産業大学(大阪)で、15日(日)に見学会を関西支部担当で開催予定。

2)国際会議開催・「2019年機械設計・技術史国際会議」を2019年9月9日(月)~12日(木)に関西大学千里

山キャンパス他で開催予定。

3)他学協会との関連事業・2019年度も他学協会との関連事業を積極的に開催する。

4)学術刊行物の発行・学会誌「技術史教育学会誌」第21巻第1号(2019年9月)、第2号(2020年3月)発行予定。ニュースレター「技術史教育」第118~121号(2019年4月,7月,10月,2020年1月)発行予定。

5)その他・学会規約による日本技術史教育学会「功績賞・業績賞」、「優秀講演論文賞」の候補者を募集、審査・表彰を行う。日本学術会議、科学技術振興機構等からの要請に対し、事業協力を行う。他学会からの要請により高度な学術支援を行う。学会HPを定期更新する。

審議事項5 2019年度収支予算書(案)の提案が説明された。「収入の部」の表において寄付金が含まれていることの説明があった。「支出の部」の表において「論文出版事業費」中「印刷製本費」が昨年度より多くなっているのは講演論文集1回分が未払いであることの説明があった。また、同表において「その他の事業費」中「ホームページ費」が昨年度のちょうど2倍になっているのは前年度未払い分が存在するためであることの説明があった。上記の説明を受けて本収支予算書が承認された。

報告事項1 関西支部関連報告

関西支部長より関西支部における昨年度活動報告、および今年度事業計画の説明があった。

報告事項2 国際会議開催

国際会議実行委員長より今年の9月に開催される国際会議の概要が説明された。

審議事項(続1) 総会議事録の署名人記載と押印の提案⇒本提案に対して反対意見もあり、議長の発案により今後の理事会の検討課題とした。

審議事項(続2) 「会計監査」と「監査」の質問 決算報告書下方に「会計監査」と学会活動全体??の「監査」を別個に扱うべきかどうか?⇒これも議長の発案により今後の理事会で検討することとなった。

審議事項(続3) 「学会誌論文転載」料金について 現在すでに他学会より転載希望が来ており早急に料金を決める必要がある。有料にするか無料とするか?について議論し、無料とすることになった。

議長団解任後、表彰状授与式に移り、これをもって2019年度総会は閉会した。

表彰式

「功績賞・業績賞」は該当者 不在

「優秀講演論文賞」は久間英樹 氏。山館順 氏。岡崎昭仁 氏。丸山晴男 氏であることが公開され、牛山会長から各氏に表彰状が授与された。参加者は拍手で各氏の受賞を祝福した。 以上

2019年度収支予算書

収支予算書

収入の部	2019年度予算額	2018年度予算額	差異	摘要(会計簿項目等)
前期繰越金	351,984	484,887	132,903	(牛山会費より、200,000円の寄附金を含む)
会費収入	690,000	690,000	0	6000円×114、3000円(学生会員)×2
論文掲載料	250,000	250,000	0	別刷料・広告料・賛助会費・雑誌寄売上金・著付・複収入・大倉金創庫・利息 (牛山、白井西氏の寄付を含む)
雑収入	200,000	200,000	0	
収入合計	1,491,984	1,424,887	132,903	

支出の部	2019年度予算額	2018年度予算額	差異	摘要(会計簿項目等)
会報出版事業費	130,000	150,000	△20,000	ニュースレター印刷費(No.118,119,120,121号)
印刷製本費	60,000	60,000	0	ニュースレター送料(4回)
送料				
論文出版事業費	650,000	600,000	50,000	学会誌(2回)、講演論文集(3回・1回は未払分)、別刷代
印刷製本費	5,000	5,000	0	編集費
送料	40,000	15,000	25,000	学会誌送料(2回)
その他の事業費	10,000	20,000	△10,000	表彰状(功績賞・業績賞・講演論文賞)作成費
表彰賞	80,000	40,000	40,000	維持管理費(前年度未払分を含む)
ホームページ費	10,000	10,000	0	関西支部
支部助成費	10,000	10,000	0	行事開催支援費
行事支援費				
管理費	10,000	20,000	△10,000	0
会議費	20,000	20,000	0	特別講演講師交通費
旅費交通費	50,000	60,000	△10,000	栄達費・切手代・電話料
通信費	10,000	30,000	△20,000	事務用品購入費
消耗品等費	30,000	130,000	△100,000	行事案内文書・封筒印刷費
印刷費	25,000	25,000	0	振替手数料・賛助会費・教育関連学会費
雑支出	240,000	240,000	0	0
事務委託費				20,000円×12ヶ月
予備費	111,984	189,887	△77,903	
当期支出合計	1,491,984	1,424,887	△132,903	△は前年度に対する減額分

特別会計(円) 前期繰越金 120,049

2018年度決算額	差異	摘要(会計簿項目等)
87 484,887	0	6000円×114、3000円(学生会員)×2
00 702,000	12,000	別刷料・広告料・賛助会費・雑誌寄売上金・著付・複収入・大倉金創庫・利息
00 170,000	80,000	
00 465,248	265,248	
87 1,822,135	197,248	

2018年度決算額	差異	摘要(会計簿項目等)
00 129,647	20,353	ニュースレター印刷費(No.114,115,116,117号)
00 84,788	△24,788	ニュースレター送料(4回)
00 582,016	17,984	学会誌(2回)、講演論文集(1回)、別刷代
00 0	5,000	編集費
00 42,148	△27,148	学会誌送料(2回)
00 14,904	5,096	表彰状(功績賞・業績賞・講演論文賞)作成費
00 0	40,000	維持管理費(未払分)
00 10,000	0	関西支部
00 100,000	△90,000	行事開催支援費
00 0	20,000	会場予約・使用費
00 30,164	△10,164	特別講演講師交通費
00 54,360	5,640	栄達費・切手代・電話料
00 0	30,000	事務用品購入費
00 94,500	35,500	行事案内文書・封筒印刷費
00 33,104	△8,104	振替手数料・賛助会費・教育関連学会費
00 240,000	0	20,000円×12ヶ月
87 54,520	135,367	総会会場(上野大学)使用料
87 1,470,151	154,736	△は予算に対する決算の超過

2018年度決算額	差異	摘要(会計簿項目等)
87 47	0	
2	0	
09	0	

会計監査

監査したところ、決算に誤りはなく、事務が適切に処理されているものと認めます。

田中明美
武藤康彦

会計監査
会計監査

日本技術史教育学会2019年度全国大会(福井・鯖江) 開催案内と研究発表講演募集

2019 年度全国大会(福井・鯖江) 開催実行委員会
委員長 高久有一(福井高専)

本学会2019年度全国大会を、2019年12月14日(土)～15日(日・休日)(15日は見学会)に福井県鯖江市の福井高専で開催いたします。つきましては会員各位による研究発表を募集いたします。

会場：福井高専(福井県鯖江市下司町、TEL 0778-62-1111(代表) JR鯖江駅から徒歩約25分、タクシー約7分)

◆募集要領:研究発表希望の会員は、下記メールアドレスに以下の項目を記入し送付する、または必要事項を記入の上、学会事務局へ封書でお送りください。

申込先: happyyou.jseht@gmail.com

- 1)講演題目:主題、副題-
- 2)講演者名:登壇者に○印(会員に限る)、所属名(およびその略称)
- 3)申込者連絡先:〒・住所・TEL/FAX・E-mail
- 4)キーワード:5つ程度
- 5)使用機器:PCと液晶プロジェクタを用意します。(USBをご持参ください)。なお、「**受付後の講演題目と発表者名の変更は認められません**」。講演原稿執筆時に十分ご注意ください。
- ◆研究発表申込締切:2019年10月15日(火)17時必着
- ◆研究発表講演原稿提出期限:2019年11月15日(金)17時必着(ともに期限厳守)、申込から原稿提出まで時間的余裕がございませんが、ご理解ください。

◆研究発表講演原稿は、PDFでの提出をお願いいたします。

◆講演資格:講演発表は「2019年度会費納入済」の会員であることが前提です。

◆申し込みの方におかれましては、同一講演者の場合は一件のみの申し込みをお願い致します。

◆学会事務局:〒113-0034 東京都文京区湯島1-12-5 小安ビル6階、(株)プラス・ワン気付、日本技術史教育学会事務局2019年度全国大会実行委員会宛。TEL/FAX:03-3835-2494(電話対応は毎週火曜日のみ、FAX常時受付)。

◆開催校連絡先:福井高専電子情報工学科准教授 高久有一(タカクウイチ) TEL/FAX 0778-62-1111(代) e-mail: takaku@fukui-nct.ac.jp

特別講演は検討中、見学会は福井の技術史関連施設を予定(変更もあります)。2019年12月15日(日)、詳細は次号に掲載。

◆全国大会プログラム、見学会等の詳細はニュースレター第120号と本学会ウェブサイトに掲載いたします。

◆その他、全国大会参加費3,000円、交流会、見学会参加費は次号に記載。

【 理事会議事録 】

◆第156回(通算199回)理事会

日時:2019年4月27日(土)、15:00～18:00、場所:サレジオ高専会議室、出席者:牛山・堤・武長・中條・桑原・山館・渡部・穂積

議題 0) 前回(第155回)議事録承認、1)各部門報告<総務(会員動向・会費納入状況・HP更新)、編集(学会誌・NL編集関連)、企画(2019年度総会準備・2018年度関西支部報告・国際会議開催準備)>、2)2019年度総会次第・事業報告・収支決算・事業計画案・予算案・表彰者選定、3)その他、4)次回理事会2019年6月以降・開催場所サレジオ高専

【 新入会員紹介 】

□岡村 征二(OSグリーン・コンサルタント事務所)、石田香澄(株文化財構造計画)

個人情報につき、氏名・所属のみ掲載(敬称略)

【 会費納入のお願い 】

2019 年度も 4 ヶ月が経過しますが、本年度会費(正会員 6,000 円、学生会員 3,000 円)未納の方は早めに納入をお願いします。また過年度会費未納

の方についても、本年度会費に未納年度会費をあわせて早急に納入して下さるようご協力ください。なお会費納入用の郵便振込用紙は、本年 4 月 30 日発行のニュースレター第 118 号とともに、会員各位のお手元に送付済みです。

【 関連学会案内 】

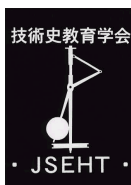
産業考古学会 2019 年度全国大会は 11 月 8~10 日に福岡県中間市にて開催予定です。詳細はホームページ <http://sangyo-koukogaku.net/recruit.html> でご確認ください

【 編集後記 】

猛暑だった今年の7月とは打って変わって梅雨寒と日照不足、長雨が続いておりましたが如何お過ごしでしょうか?今年度の全国大会は12月に福井県鯖江市において開催するため準備を進めております。師走の忙しくなる時期ではございますが、多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。また、9月9日~12日には機械設計と技術史国際会議が大阪にて開催予定でおります。(穂積洋一)

日本技術史教育学会ニュースレター 第119号

2019年7月25日 印刷
2019年7月31日 発行



技 術 史 教 育
Education for History of Technology

発行者 日本技術史教育学会 会長 牛山 泉
編 集 日 本 技 術 史 教 育 学 会
(株) プラス・ワン気付 日本技術史教育学会 事務局
〒113-0034 東京都文京区湯島1-12-5 小安ビル6F
TEL/FAX: 03-3835-2494
E-Mail: jseht@nifty.com